

「掛田の生糸」導入の指導案（部分）

	学習内容・活動	時間	予想される児童の反応	○指導上の留意点●資料◆評価□フィードバック
掛田の生糸の導入(1)	<p>1 繭, 生糸, 生糸の商標を見て, 自由に話し合う。 ○この繭は何からできていると思いますか。</p> <p>○江戸時代は養蚕が盛んだったけれど, 明治維新後はどうなったと思いますか。</p> <p>○生糸の商標の漢字やローマ字を読んでください。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・蚕 ・もっとさかんになった。 ・さかんでなくなった。 ・岩代 ・掛田 ・KAKEDA ・YASUDA RISAKU ・安田利作 	<p>○前時の課題に対して家族などに聞いてきたことを発表させる。</p> <p>●繭, 蚕の写真</p> <p>●生糸実物</p> <p>◆生糸や繭に興味を示しているか。</p> <p>□生糸からどのようなものができるかなどを発表させながら, 明治のころはどうだったかの予想へつなげる。</p> <p>○商標のどこに注目しているかを観察する。</p> <p>○英語の読み方を質問し, 読み取りの関心が高まるようにする。</p> <p>◆商標を読み取るようとしているか。</p>
	<p>2 幕末から明治にかけて, 掛田の生糸がさかんになった理由を予想する。</p> <p>掛田の生糸が盛んになった根拠をさがそう。</p> <p>○掛田の生糸が盛んになったのはどうしてだと思いますか。グループで話し合せて, 自分の考えをノートに書いてみましょう。</p> <p>○今までの話し合いから, 掛田の生糸が盛んになった一</p>	25	<ul style="list-style-type: none"> ・桑畑が多かったからでは? ・生糸は儲かったからでは? ・昔から盛んだったからでは? ・掛田の生糸が良かったからでは? 	<p>○「掛田」が自分たちの地域であることを強調することにより商標の読み取りの意欲が高まるようにする。</p> <p>●スライド</p> <p>○机間指導により, 考えや話し合いの様子を評価する。</p> <p>◆生糸が盛んになった理由をグループで話し合っているか。</p> <p>□幕末のころの養蚕の様子を振り返らせおもしろい予想を全員の前ではめるようにする。</p> <p>○じっくり時間をかけて, 一人一人が自分なりの予想を持てるようにする。</p>

贈る言葉

こんどの勉強で Y子 君(さん)のことが、今までより、少しわかりました。

Y子 君(さん)は、いろいろな方向から考えられてしうすにまとめることのできる人です。

これからもよろしく、K子 より。

(K子の「贈る言葉」)

ウ 教師からの評価

(ア) 教師の観察と作品分析

教師の観察の観点を指導案に位置付けて授業を実施した。例えば、「掛田の生糸」の導入においては、上に示したように生糸や繭への関心、商標の読み取りへの意欲、生糸が盛んになった理由の話し合いの観点から3段階で評価した。

また、55ページの表は、「学習の記録」の一部である。例えば、「明治の世の中」の導入では、「表情、つぶやき」「発言の内容」「吹きだしカードの記述」の評価の観点を決め、A、B、Cの3段階で評価したものである。